

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成29年11月13日
【四半期会計期間】	第66期第2四半期（自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日）
【会社名】	ロックペイント株式会社
【英訳名】	ROCK PAINT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 内海 東吾
【本店の所在の場所】	大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号
【電話番号】	06-6473-1551
【事務連絡者氏名】	取締役 市川 智
【最寄りの連絡場所】	大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号
【電話番号】	06-6473-1551
【事務連絡者氏名】	取締役 市川 智
【縦覧に供する場所】	ロックペイント株式会社東京本社 （東京都江東区南砂2丁目37番2号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第2四半期 連結累計期間	第66期 第2四半期 連結累計期間	第65期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高 (百万円)	12,387	12,603	24,228
経常利益 (百万円)	1,044	1,271	2,247
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	651	872	1,479
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	553	1,293	1,889
純資産額 (百万円)	33,756	35,997	34,899
総資産額 (百万円)	41,170	44,213	42,442
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	33.90	45.41	76.96
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	82.0	81.4	82.2
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	1,615	519	3,244
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	△363	2,136	△65
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	△144	△195	△337
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	6,320	10,541	8,084

回次	第65期 第2四半期 連結会計期間	第66期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成28年7月1日 至平成28年9月30日	自平成29年7月1日 至平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	20.77	21.46

- (注) 1. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
4. 第66期第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っております。第65期第2四半期連結累計期間及び第65期の主要な経営指標等についても組替え後の数値を記載しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加や輸出の拡大が企業の景況感を押し上げたほか、株式相場の上昇が見られ、緩やかに回復を続けました。海外経済については、米国の政策動向や北朝鮮情勢の緊迫化等の不透明な部分もありますが、引き続き緩やかな回復が見られました。

この様な状況のもとで、当社グループは、顧客満足度の高い新製品開発上市や新規需要の開拓に努めるとともにグローバル展開の強化を推進し、また、製造経費の削減等の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高126億3百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益10億77百万円（前年同期比3.1%増）、経常利益12億71百万円（前年同期比21.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億72百万円（前年同期比33.9%増）となりました。

当社グループは、塗料等製造販売の単一セグメントであるため、製品分野別の業績は次の通りであります。

①車両用塗料分野

環境対応と生産性向上の両立に有効な高性能ベースコートと環境配慮型クリヤー及び環境配慮型下地塗料の拡販に加え、水性シリーズ「ネオウォーターベース」と、大型車両や産業機械等に適した環境配慮型2液アクリルポリウレタン塗料の拡販に努め、大型車両分野は堅調に推移しましたが、修理入庫数減少の影響を補いきれず、売上高は前年同期を下回りました。

②建築用塗料分野

改修・リニューアル市場に重点を置き、ご好評をいただいております水性シリコン樹脂系塗料「ハイパービルロックセラ」や「ユメロック」シリーズに加え、超高耐候性フッ素樹脂塗料「サンフロン」シリーズの拡販に努めた結果、高付加価値製品を中心とした製品群は好調に推移しましたが、市況の冷え込みは厳しい状況が続き、売上高は前年同期並みとなりました。

③工業用塗料分野

塗料分野では鋼製家具、什器用等を中心に粉体塗料の需要獲得及びドア・シャッター用プライマーの拡販を行い、接着剤分野では国内外の包装材用途並びに工業用途で着実なる需要開拓及び高付加価値製品の販売を行いました。その結果、売上高は前年同期を上回りました。

④家庭用塗料分野

高耐候・高機能製品や簡易防水型床用塗料等は堅調に推移しましたが、主力のエアゾール製品が市況の冷え込みを補うには至らず、売上高は前年同期を下回りました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産の合計は、442億13百万円（前連結会計年度末は424億42百万円）となりました。また、負債の合計は、82億16百万円（前連結会計年度末は75億43百万円）となり、純資産の合計は、359億97百万円（前連結会計年度末は348億99百万円）となりました。

この結果、自己資本比率は、81.4%（前連結会計年度末は82.2%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当連結会計年度の期首残高より24億56百万円増加し、105億41百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、5億19百万円（前年同期は16億15百万円の獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益12億39百万円、減価償却費5億円の資金の増加があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、21億36百万円（前年同期は3億63百万円の使用）となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入24億円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1億95百万円（前年同期は1億44百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払によるものです。

(4) 経営方針・経営戦略等及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、3億92百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	88,000,000
計	88,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数（株） （平成29年9月30日）	提出日現在発行数（株） （平成29年11月13日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	22,000,000	22,000,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	22,000,000	22,000,000	—	—

（注）平成29年8月8日開催の取締役会決議により、同年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 （株）	発行済株式総 数残高 （株）	資本金増減額 （百万円）	資本金残高 （百万円）	資本準備金増 減額 （百万円）	資本準備金残 高 （百万円）
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日	—	22,000,000	—	1,100	—	530

(6)【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 （千株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
辻不動産株式会社	大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号	7,860	35.73
ロックペイント株式会社	大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号	2,781	12.64
ケミコ株式会社	大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号	2,025	9.21
辻 信一郎	兵庫県西宮市	869	3.95
ロック共栄会	大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号	808	3.68
ロック商事株式会社	大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号	482	2.19
ピーアイエー株式会社	大阪市西淀川区福町1丁目1番16号	306	1.39
名出 草苑子	兵庫県神戸市西区	292	1.33
松井 朋子	兵庫県西宮市	282	1.28
旭化成株式会社	東京都千代田区神田神保町1丁目105	240	1.09
計	—	15,949	72.50

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 2,781,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 19,155,000	19,155	—
単元未満株式	普通株式 64,000	—	—
発行済株式総数	22,000,000	—	—
総株主の議決権	—	19,155	—

② 【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
ロックペイント株式会社	大阪市西淀川区姫島 3丁目1番47号	2,781,000	—	2,781,000	12.64
計	—	2,781,000	—	2,781,000	12.64

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、ひびき監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,284	12,341
受取手形及び売掛金	5,636	※ 6,752
電子記録債権	357	※ 548
商品及び製品	3,126	2,944
仕掛品	510	523
原材料及び貯蔵品	1,121	1,231
その他	409	543
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	23,444	24,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,342	4,212
土地	7,683	7,452
その他（純額）	2,743	2,477
有形固定資産合計	14,769	14,142
無形固定資産		
その他	200	257
無形固定資産合計	200	257
投資その他の資産	4,062	4,961
貸倒引当金	△33	△32
固定資産合計	18,998	19,329
資産合計	42,442	44,213
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,343	3,663
未払法人税等	397	393
賞与引当金	335	340
その他	1,158	1,151
流動負債合計	5,234	5,550
固定負債		
役員退職慰労引当金	190	204
退職給付に係る負債	1,746	1,828
資産除去債務	108	108
その他	263	524
固定負債合計	2,309	2,666
負債合計	7,543	8,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100	1,100
資本剰余金	530	530
利益剰余金	33,979	34,660
自己株式	△2,165	△2,168
株主資本合計	33,444	34,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,318	1,740
為替換算調整勘定	220	205
退職給付に係る調整累計額	△90	△77
その他の包括利益累計額合計	1,448	1,868
非支配株主持分	6	6
純資産合計	34,899	35,997
負債純資産合計	42,442	44,213

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	12,387	12,603
売上原価	9,297	9,482
売上総利益	3,089	3,121
販売費及び一般管理費	※ 2,043	※ 2,043
営業利益	1,045	1,077
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	31	35
受取賃貸料	65	70
業務受託手数料	28	26
持分法による投資利益	74	80
雑収入	21	22
営業外収益合計	226	237
営業外費用		
売上割引	14	14
為替差損	199	23
雑損失	14	6
営業外費用合計	227	44
経常利益	1,044	1,271
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	9	31
減損損失	25	1
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	35	33
税金等調整前四半期純利益	1,010	1,239
法人税等	360	367
四半期純利益	650	872
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	651	872

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	650	872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	422
為替換算調整勘定	△84	△14
退職給付に係る調整額	18	12
その他の包括利益合計	△97	420
四半期包括利益	553	1,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	555	1,293
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,010	1,239
減価償却費	553	500
減損損失	25	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	97	100
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	5
受取利息及び受取配当金	△36	△37
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	207	24
持分法による投資損益 (△は益)	△74	△80
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△2
固定資産除却損	3	31
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△203	△1,309
たな卸資産の増減額 (△は増加)	354	55
仕入債務の増減額 (△は減少)	108	320
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△85	68
その他	40	△74
小計	2,034	858
利息及び配当金の受取額	36	38
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△456	△377
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,615	519
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,454	—
定期預金の払戻による収入	2,400	2,400
固定資産の取得による支出	△336	△293
固定資産の売却による収入	0	10
投資有価証券の売却による収入	2	—
貸付けによる支出	△43	△21
貸付金の回収による収入	57	34
その他	9	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△363	2,136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△3
配当金の支払額	△144	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144	△195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,077	2,456
現金及び現金同等物の期首残高	5,242	8,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 6,320	※ 10,541

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

従来、賃貸用不動産の一部は「有形固定資産」に計上し、賃貸用不動産に関する維持管理費用は「販売費及び一般管理費」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間から、それぞれ「投資その他の資産」、「営業外費用」に計上する方法に変更いたしました。この変更は明瞭性を高め、費用収益を対応させる観点から、賃貸用不動産及び関連損益について、より適切に表示するためのものであります。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表並びに前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「有形固定資産」の「建物及び構築物」に計上していた60百万円及び「土地」に計上していた188百万円を「投資その他の資産」に249百万円組替えております。また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「販売費及び一般管理費」のうち、賃貸用不動産に関する維持管理費用3百万円を「営業外費用」の「雑損失」に組替え、四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に計上していた13百万円を「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に組替えております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
受取手形	－百万円	669百万円
電子記録債権	－	154

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
従業員給料及び手当	543百万円	550百万円
賞与引当金繰入額	126	133
退職給付費用	50	47
役員退職慰労引当金繰入額	12	13
貸倒引当金繰入額	0	△0

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
現金及び預金勘定	11,174百万円	12,341百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△4,854	△1,800
現金及び現金同等物	6,320	10,541

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	144	7.5	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月8日 取締役会	普通株式	192	10.00	平成28年9月30日	平成28年12月9日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月28日 定時株主総会	普通株式	192	10.0	平成29年3月31日	平成29年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年11月9日 取締役会	普通株式	144	7.5	平成29年9月30日	平成29年12月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

当社は、塗料等製造販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

当社は、塗料等製造販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	33円90銭	45円41銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	651	872
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額 (百万円)	651	872
普通株式の期中平均株式数 (千株)	19,224	19,221

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成29年11月9日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次の通り決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・144百万円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・7円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成29年12月8日

(注) 平成29年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月13日

ロックペイント株式会社

取締役会 御中

ひびき監査法人

代表社員 公認会計士 加藤 功士 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 岡田 博憲 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているロックペイント株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ロックペイント株式会社及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。